

話で入れる事もあります。それらの母達にそれぞれ職を探して就職致しませば留守の間は幼兒乳兒は勿論本園であづかります。母達の職業は種々でござりますが病院の繃帶洗、派出婦、庭掃除、小便等で針を持てますものは家で人仕事をしたり、傍らミシンを習つたり編物をしたりするのもございます。唯今は一室だけ空いて居ります。全部で九家族二十人以上で皆職について外へ働きに出て居ります。職につきますまではこちらで當分世話を致しましてもその後は家質(三圓五十錢と四圓)を取る事に致して居ります」と。

一般幼稚園の對社會活動として爲さるべき多くの仕事の残されてある現在に、二葉保育園の園舎を活用せられてのこの「母の家」の事業は有益かつ有力なる第一歩である事を信じる。(一一、一五)

家庭用兒童劇として氏の研究せられしもの數番が十一月二十六日有樂座に於て上演された。
クリスマス、お正月、家庭的團欒の機會を目前にひかへての此新しき發表は喜んでむかへられた。なほこの試演前後三回に渡て同氏の、「家庭教育と文藝」と云ふ題目の下に兒童劇の歴史、扱ひ方等に就ての講演が早稻田大學講室に於て催された。
聽講者は婦人を主とし、母姊、學生、教師等多くあつた。

家庭の中にも火鉢の灰をかきならしてゐる素晴しいレオナルドがある。子守唄をうたひお伽噺をきかしてゐる素晴しいゲーゲがゐる。其暖かな涙で、實踐理性の何物であるかを知らしてゐる素晴しいカントがある。(婦人解放よりの解放より)

○坪内逍遙氏の家庭兒童劇